



琉球大学

UNIVERSITY OF THE RYUKYUS

2024

Faculty of Humanities and Social Sciences

人文社会学部

国際法政学科 人間社会学科 琉球アジア文化学科

共生と知のこころ
沖縄から世界へ



人文社会学部の教育研究上の目的

人文社会系の専門的、学際的分野において真理を探求し、それを基に、個人の尊厳と基本的人権を尊重する平和・共生社会の形成者、社会全体の持続的発展に寄与する人材を育成します。



人文社会学部HP

人文社会学部

国際法政学科…P3

人間社会学科…P5

琉球アジア文化学科…P7

学部長メッセージ

地球上の多様な変化が今まで人類が経験したことのないスピードで起こっている今、これまでの経験の積み重ねで得られた知識は役に立たないと言う人もいます。その一方で、新たなウィルスの蔓延や戦争、多くの人権侵害が、今もなお世界中で繰り返されているという現実を皆さん方は目の当たりにしています。このような現代社会では、既存の知識に正解を求めるのではなく、課題解決に向けたその時々最適解はどのように求めることができるのかを考え続け、納得感をもって行動する力が求められます。

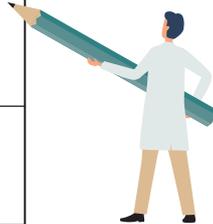
人文社会学部では、皆さん方がその力を身につけるための土台として「平和・共生・沖縄理解」をキーワードとした様々な学びを、教職員一同となって提供します。自然・文化・歴史・社会のいずれにおいても多様性・独自性をもつ沖縄の地で、多くの出会いとともにその力をつけていきませんか。



人文社会学部長
本村 真

学科・プログラム別募集人員

学科	プログラム	入学定員	一般選抜		特別選抜		私費外国人	3年次特別編入
			前期日程	後期日程	学校推薦型選抜Ⅱ	帰国生徒		
国際法政学科	法学プログラム	80名	50名	14名	16名	若干名	若干名	4名※注
	政治・国際関係学プログラム							
人間社会学科	哲学プログラム	80名	41名	18名	5名	若干名	若干名	4名
	心理学プログラム				8名			
	社会学プログラム				8名			
琉球アジア文化学科	歴史・民俗学プログラム	40名	25名	9名	6名	若干名	若干名	2名
	言語学プログラム							
	文学プログラム							



人文社会学部は、国際法政学科、人間社会学科、琉球アジア文化学科の3学科のもと、法学プログラム、政治・国際関係学プログラム、哲学プログラム、心理学プログラム、社会学プログラム、歴史・民俗学プログラム、言語学プログラム、文学プログラムの8プログラムで構成されています。

※人間社会学科の学校推薦型選抜Ⅱは、各プログラム別で募集を行います。

※大学入学共通テスト及び個別学力検査等の教科・科目等、より詳細な情報は、『入学者選抜要項』に記載がありますので、受験される方は必ずご確認ください。

※注 国際法政学科の学力検査等は志望プログラム毎に行います。プログラム毎の目安人数は次のとおりです。

法学プログラム：2名、政治・国際関係学プログラム：2名

各プログラムへの配属について

学科単位で募集を行い、1年次は合格した学科に所属します。1年次後学期を終了した時点で、本人の希望と1年次の成績等に基づき所属する学科の各プログラムへの配属を決定します。(全ての学生は、2年次前学期から各プログラムに配属されます。)

※右記人数は、受入人数の目安であり、各プログラムへの配属数は最終的に変動する場合があります。また、学生本人の成績やプログラムの受入人数等により、全学生の希望とおりの配属とならない可能性があります。ただし、人間社会学科において学校推薦型選抜Ⅱで入学した学生は、合格したプログラムに配属となります。

学科	プログラム	受入人数
国際法政学科	法学プログラム	40名
	政治・国際関係学プログラム	40名
人間社会学科	哲学プログラム	18名
	心理学プログラム	30名
	社会学プログラム	32名
琉球アジア文化学科	歴史・民俗学プログラム	14名
	言語学プログラム	13名
	文学プログラム	13名

アドミッションポリシー(求める学生像)

知識・技能

大学における人文社会分野の学びの土台となる高校での学習内容に関する基礎的な力を有する人

思考力・判断力・表現力

答えが一つに定まらない問題に自ら解を見出していく基礎的な力を有する人

主体性・協同性

主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度・スキルを有する人

目的意識

人文社会学部の学問分野に対する強い関心と学びの意欲を有する人



「風一影」作者：西村貞雄 展示場所：文系学部棟玄関

教育カリキュラムの構成

		1年次	2年次	3年次	4年次
共通教育科目		教養領域（人文系科目、社会系科目、自然系科目、健康運動系科目） 総合領域（総合科目、琉大特色・地域創生科目、キャリア関係科目） 基幹領域（情報関係科目、外国語科目）			
		平和共生・沖縄理解科目群 ※科目指定			
専門教育科目	学部共通基盤科目	基礎演習Ⅰ ▶ 基礎演習Ⅱ ▶ 基礎演習Ⅲ			
	学部共通科目	平和共生・沖縄理解基盤科目		キャリア関係科目	
		国際法政学科		学科基盤科目 ▶ 学科発展科目	
	国際法政学科 法学プログラム 政治国際関係学プログラム	学科共通科目	学科基盤科目 ▶ 学科発展科目		
		プログラム専門科目	基盤科目 ▶ 発展科目		
	人間社会学科 哲学プログラム 心理学プログラム 社会学プログラム	学科共通科目	学科基盤科目 ▶ 学科発展科目		
		プログラム専門科目	コア基盤科目 ▶ コア発展科目 ▶ 発展科目		
	琉球アジア文化学科 歴史民俗学プログラム 文学プログラム 言語学プログラム	学科共通科目	学科基盤科目 ▶ 学科発展科目		
プログラム専門科目		コア基盤科目 ▶ コア発展科目 ▶ 発展科目			

卒業（進学・就職）

1

「共通教育科目」の履修

1～2年次を中心に、全学共通の共通教育科目を履修することによって、文系・理系の知にバランスよく触れ、外国語科目の履修によって国際性を身につけます。人文社会学部の共通教育における特徴は、「平和共生・沖縄理解」に関係する科目を指定し、6単位以上を修得することです。これにより、平和共生・沖縄理解に関する文系・理系の知を修得します。

2

「学部共通科目」の履修

学部共通科目のうち「学部共通基盤科目」は、「基礎演習Ⅰ」が1年次前期の配当で、大学生としての学びの基礎を修得します。「基礎演習Ⅱ」では、課題解決における最適解の導出についてその基礎を学修し、次に「基礎演習Ⅲ」を履修し沖縄と平和、共生について学修します。いずれも必修科目(※)で、1年前期から2年後期の間の配当となります。また、学部の共通科目として「平和共生・沖縄理解基盤科目」を設定し、各プログラムの学問分野と関連付けながら、平和共生・沖縄理解について基盤となる知を修得します。(※) 基礎演習Ⅲを必修としないプログラム（心理学プログラム）もあります。

3

「学科共通科目」の履修

学科共通科目は、学科基盤科目と学科発展科目からなります。これらの科目を順次履修することによって、学科の共通の基盤となる知を身につけ、さらにその知を発展させます。

4

「プログラム専門科目」の履修

プログラム専門科目は「プログラムコア基盤科目」、「プログラムコア発展科目」及び「プログラム発展科目」である(※国際法政学科は「プログラム基盤科目」と「プログラム発展科目」)。これらの科目を順次履修することによって、学部共通科目や学科共通科目で培った知を基に、演習形式におけるアクティブ・ラーニングによって、専門的な学びを学年が進むとともに深め、卒業論文を完成させます。(法学プログラムは選択)。

国際法政学科

国際法政学科HP



学科概要

1. 学科の教育理念・目的

国際法政学科は、法学・政治学・国際関係学に関する専門的知識を学び、豊かな学際的知を形成しながら、多様な社会との共生のあり方や持続的発展のための政策提言・発信力、及び平和共生社会を構築できる実践力を持つ人材の輩出を目指しています。そのため、当学科は、法学プログラムと政治・国際関係学プログラムから構成され、法学・政治学・国際関係学をバランスよく学べるカリキュラムを設けています。さらに、弁護士など法曹職を目指す学生向けに、法科大学院と連携して多くの科目を開講しています。

2. 求める学生像

法学・政治学・国際関係学などを中心とする社会科学分野の学問を土台として、現代社会における諸問題を総合的かつ体系的にとらえて、問題の本質を見極め、その解決策などを研究していきます。そのため、当学科は、①人間社会や社会科学への深い関心、②柔軟かつ総合的な思考力、③主体的に学ぶ意欲を持った人材を求めています。

3. 育成する人材像

法学・政治学・国際関係学の学びを通して、リーガル・マインドを持ちつつ政治や行政、国際関係に精通する人材を養成し、地方・国家公務員、マスコミ、法曹、国際公務員、企業の国際職など高度専門職につける人材を輩出することを目指します。

留学について

琉球大学と提携している世界中の各大学へと交換留学することが可能です。この制度を利用して、これまで、ハワイ大学(米国)、延世大学(韓国)、福建師範大学(中国)、国立台湾大学などに留学しています。また、学科独自の授業として、短期の海外研修(ハワイ、ソウル)科目も展開しています。

海外研修
(韓国ソウル)



主要科目

憲法・民法・刑法・商法・刑事手続と人権・民事手続法・行政法・社会保障法・労働法・刑事政策・政治思想史・政治過程論・行政学・地方自治論・公共政策学・国際政治学・日本政治外交史・国際関係史・国際社会学・比較政治学

想定する進路 (※過去の実績に基づき抜粋)

【国家・地方公務員等】

沖縄県庁、法務省(総合職)、外務省(総合職)、内閣府沖縄総合事務局、国税庁、福岡出入国在留管理局那覇支局、市役所・村役場、沖縄県警、那覇地方裁判所、琉球大学(事務)など

【マスコミ】

NHK、共同通信、琉球新報、沖縄タイムス、琉球放送、沖縄テレビ、琉球朝日放送、朝日新聞など

【民間企業】

琉球銀行、沖縄銀行、沖縄振興開発金融公庫、大同火災海上保険、沖縄電力、JAL、JTA、ANA、サンエー、日本郵便、JTB沖縄、沖縄ゼロックス、ザ・ナハテラスなど

【大学院進学】

琉球大学、東京大学、京都大学、一橋大学、大阪大学、東北大学、早稲田大学、同志社大学、ハワイ大学など



海外研修
(米国ハワイ)



1年次研修
(県議会)



海外研修
(グアム)



法学プログラム



Yoshiharu Toya

戸谷義治先生のメッセージ

日本が欧米諸国から近代法制を導入し始めた明治維新から150年以上が経ち、その間に幾多の紛争が発生し、議論がなされてきました。法学はともすれば条文を暗記する無味乾燥な世界と思われがちですが、そうした紛争解決や議論の積み重ねの上にとって社会を観察し、国家や人々間の権利義務のルールを考察する面白い学問です。

琉大法学プログラムは小規模な教育単位ですが、法科大学院とも連携しつつ、多くの法律科目を開講し、また3年次以降は法学演習などによってより深化した学修環境を提供しています。そして、研究者や弁護士、公務員のほか企業などに幅広く人材を輩出しています。

法律や判決、文献を読み、自らも文章を作り、議論するなどやるべきことはたくさんありますが、将来を見据えつつ、法学を学ぼうとする学生諸君を歓迎します。

主なゼミでの学習テーマ

- ・民法改正を考える
- ・民事裁判における手続保障
- ・退職をめぐる問題
- ・職場におけるいじめ
- ・戦後沖縄の刑事法制
- ・辺野古裁判と地方自治
- ・行政処分職権取消と撤回
- ・医療保障と医療制度改革
- ・生活保護をめぐる問題
- ・民事法総合研究
- ・不法行為法制

教員一覧

徳田 博人	教授	行政法
森川 恭剛	教授	刑法
高田 清恵	教授	社会保障法
戸谷 義治	教授	労働法
三浦 毅	准教授	民事手続法
李 妍淑	准教授	民法
一藁 幸	講師	民法



授業風景



台湾研修

政治・国際関係学プログラム



Gen Ninomiya

二宮 元先生のメッセージ

現代に生きる私たちの生活は、世界のあちこちで起きる出来事や動きとつながっています。米軍基地と隣り合わせで生きる沖縄の人びとの生活は、米国の軍事外交政策、朝鮮半島情勢、中国・台湾関係などから影響を受けています。また、日常生活の中で私たちがとる行動が、世界の見知らぬ人びとや地域に影響を与えていることもあります。たとえば、私たちは低賃金で劣悪な労働環境のもとで作られた衣服や食品などの製品を購入することで、知らないうちにそうした労働者の抑圧に加担してしまっていることがあるかもしれません。現代社会の中でよりよく生きるためには、自分と世界がどのようにつながっているのかを正しく理解することが必要不可欠です。沖縄や日本のみならず世界の政治や国際関係を扱う本プログラムでの学びを通して、幅広い知識を身につけるとともに、自分がどのように生きるのか、よりよい社会の実現のために自分に何ができるのかを一緒に考えていきましょう。

主な卒業論文のテーマ

- ・米中関係—レジームの変容と戦争発展の可能性—
- ・ヒップホップ・カルチャーにおける不可視化され、周縁化したLGBTQの人々の存在
- ・ソウルはなぜオリンピック開催権を獲得したのか—開催における日本と韓国の誘致活動比較—
- ・変化する女性表象—女性ファッション誌『VERY』の分析を通して—
- ・中心市街地における大型公共施設の改善可能性の検討—コザ・ミュージックタウンと他事例との比較分析を官民連携の視座より—
- ・沖縄戦民間人被害者の戦後補償に対する認識—沖縄戦被害者への聞き取り調査に基づく検証—
- ・大都市における文化政策の総合的展開—兵庫県豊岡市を事例として—
- ・沖縄基地問題の行方
- ・第二次台湾海峡危機と核兵器—沖縄・日本・米国・中国の四者認識と権力構造—

教員一覧

金 成浩	教授	国際関係史、ロシアを含む東アジア国際関係研究
阿部 小涼	教授	国際社会学、社会運動論、比較社会文化論
二宮 元	教授	比較政治学、福祉国家論
萩原 淳	准教授	日本政治外交史
山本 章子	准教授	国際政治学
前田 貴洋	准教授	行政学、地方自治論
川口 航史	准教授	政治過程論



授業風景

人間社会学科

人間社会学科HP



学科概要

1. 学科の教育理念・目的

【学科共通】現代は、社会や自然の急激な変化や価値観の多様化の中で、人間をとりまく諸問題がますます複雑になっています。こうしたなかで、経済や科学技術、環境問題などに関する地球規模での人類の連帯の必要性とともに、地域・民族・文化・思想・伝統の多様性の認識が重要なテーマとなっています。そして人間の心のあり方や人間らしい生き方、人間集団としての社会のあり方そのものが大きく問われています。人間社会学科では、人間を中心に据えながら、人類が直面する問題を社会・文化・地域・環境といった多角的な視点から探求し、幅広い知識と寛容の精神を持って時代の創造者になるような人材の育成を目指しています。

【哲学プログラム】哲学プログラムでは、生と死、人間・世界、知、環境、生命、科学技術等について、文献読解や討論を通じて原理的・本質的な探究を行います。またそれと同時に、哲学・倫理学での知見を基にして、現実社会での喫緊する課題についても探求します。

【心理学プログラム】心理学プログラムでは、心理学の基礎的分野から応用的分野まで幅広くカリキュラムが提供されており、包括的に心理学を学ぶことができます。また実験などを体験的に学ぶことで、科学的な方法論やデータ分析、さらには報告の仕方まで、心理学のみならず社会で活用できる能力も身につけることができます。

【社会学プログラム】社会学プログラムでは、社会学・福祉学・マスコミ学の3つのコースを軸としながら、人間と社会・地域との関係や問題を探っています。少人数教育のメリットを活かし、社会調査実習、福祉施設や相談機関での実習(社会福祉士資格関連)、新聞やTV番組制作実習などの実習科目に力を入れているのが特徴です。また、アジアからの留学生を多く受け入れ、国際交流を活発に行っています。平和問題や多文化共生など、沖縄ならではのテーマを十分に学習できる点も、社会学プログラムの魅力のひとつです。

2. 求める学生像

思想・心・社会に強い関心を持ち、多面的な観点から物事を考察し自分なりの意見をまとめることができ、市民社会の発展や生活問題の解決にも貢献できる人を求めています。

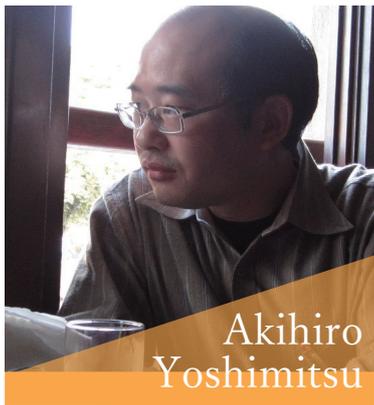
3. 育成する人材像

人間科学に関する専門的な知と幅広い学際的知を基に、個人の尊厳を保ち、誰もが自由・公平に、また安心・安全に生きられる社会を形成できる人材を養成します。

留学について

琉球大学と協定を提携している世界中の各大学へと留学することが可能で、この制度を利用して、これまで(旧・法文学部時代)に、デュッセルドルフ大学、ハワイ大学ヒロ校、コンケン大学(タイ)、ラオス国立大学、延世大学などで学んだ学生がいます。また、文部科学省と民間企業とで運営する「トビタテ!留学JAPAN」を利用した学生もいます。

哲学プログラム



Akihiro
Yoshimitsu

吉満昭宏先生のメッセージ

19世紀半ば、ドイツの哲学者L. A. フォイエルバッハは「神学の秘密は人間学である」という趣旨のことを述べた。これはつまり、「神学」なるものは「神に関する学問」などではなく、実のところ、人間の理想に関する「人間学」に他ならない、というわけである。さて、時代はそこから2世紀ばかり下って、21世紀前半の今日の世界情勢を見てみよう。言うまでもなく、この時代の一つの特徴として「高度情報化社会」が挙げられるだろう。「ビッグデータ」「メタバース」「ブロックチェーン」「Society5.0」「DX」「IoT」などといった言葉が、日夜飛び交っている。そして、どの課程の教育現場であれ、データサイエンス教育やプログラミング教育、またそれらの必修化などが盛んに議論されている(実際、本学部でも情報系の科目が必修化された)。私はここで、先のフォイエルバッハに倣って「データサイエンスの秘密も人間学である」と言いたい。慧眼な方なら、もうその先は言う必要はないですね。データサイエンスや情報科学であれ、いや、それらこそ、その本質は哲学・教育学の観点から探求されるべきものなのです。と言うわけで、本プログラムでその辺の真相をじっくりと腰を据えて探ってみるのも、ありだと思います。



合同ゼミの風景

教員一覧

長谷川 裕	教授	教育社会学 (現代日本の教育と社会の関係)
寺石 悦章	教授	哲学、人間学、宗教思想、東洋思想
久高 将晃	教授	現代ドイツ哲学
吉満 昭宏	准教授	現代英米哲学、非古典論理学

想定する進路

大学院進学、公務(区市町村の役所の職員、警察官)、民間企業(金融、製造、情報通信、サービスなど)、高校教員

取得可能な資格

高等学校教諭1種免許状(公民)

心理学プログラム



Kohei Hashimoto

橋本光平先生のメッセージ

人間に関する興味は尽きません。私自身もそのような興味から人文諸学を学び始めました。心理学はそのような人間を探求しようとする人文諸学の1つであると私は考えます。人間を探求したいという同じ興味を持つ学問のなかで心理学の特徴は何なのでしょう。それは、観察、調査、実験といった方法でデータを取得し、統計を使って得られたデータを分析し、科学論文としてその結果を発信することです。このような方法を通して、人間の心理や行動の法則に接近しようとするのが心理学です。本プログラムでは、体系的に心理学を学ぶことを通して単に心理学の知識を身につけるだけではなく、人間に接近する際の心理学的態度や方法を身につけることができます。そしてこれらの態度や方法の修練は、心理専門職だけではなく、多様な業界で求められる論理的・分析的思考や問題解決力、発信力の涵養につながるはずで。みなさんとともに、心理学することを楽しみにしています。

教員一覧

畠中 雄平	教授	臨床心理学、児童精神医学、発達障害
泊 真児	教授	社会心理学、心理学教育、青少年の健全育成
田中 寛二	准教授	臨床心理学、加害者臨床、カウンセリング
高良 美樹	准教授	社会心理学、アイデンティティ
草野 智洋	准教授	臨床心理学、ロゴセラピー、離婚後親子支援
橋本 光平	講師	臨床心理学、行動分析学

想定する進路

大学院進学、国家公務員（一般職、家庭裁判所調査官、法務教官、法務技官など）、地方公務員（一般職、心理職等）、民間企業（金融、製造、情報通信、サービス、大学事務など）、心理専門職【指定大学院修了後】（教育相談員、病院心理士、スクールカウンセラーなど）

取得可能な資格

高等学校教諭1種免許状（公民）
認定心理士

受験資格が 得られるもの

公認心理師（卒業後に、実務経験、または、大学院進学が必要）



心理学実験の風景

社会学プログラム



Naomi Noiri

野入直美先生のメッセージ

皆さんは「社会」にどんなイメージをもっていますか？国家やグローバル社会のように巨大なものから、地域、家族、仲間のように身近なものまで、さまざまな社会がありますね。SNSのやりとりや集合と離散をくりかえすクラウド（群れ）も、社会学の研究対象です。私たちは社会のルールに合わせてスムーズな生活を送っていますが、社会は私たちから影響を受け、新しい方向に動いています。社会学を学ぶことは、社会に対してあなたが発揮できる能動性と主体性を高め、協働や共生を担う高度人材へとあなたを導きます。その学びには、社会的な常識を批判的にとらえ直すなどの認識枠組みのバージョンアップと、社会調査などの専門的な方法の習得があります。手を動かし、足を運んで社会を知る楽しみを体験してください。

教員一覧

鈴木 規之	教授	国際社会学（タイ・ラオス、沖縄のグローバル化）
野入 直美	教授	比較社会学（移動、境界、マイノリティ、共生）
新任 教員		
渡久山 清美	講師	ジャーナリズム研究（沖縄関連報道の調査・研究）
水野 良也	教授	社会福祉学（グループを活用した福祉的援助）
本村 真	教授	社会福祉学（人を支援するための有効な方法）
田中 将太	講師	社会福祉学（NPOによる福祉サービスと中間支援）
波名城 翔	講師	社会福祉学（島嶼福祉、精神障害者への支援、自殺予防対策）

想定する進路

大学院進学、沖縄県やその他の官公庁（一般行政職や福祉職等）、沖縄県・市町村社会福祉協議会、病院、施設、相談機関、県内外マスコミ、民間企業（金融、運輸、流通、情報通信など）

取得可能な資格

高等学校教諭1種免許状（公民）

受験資格が 得られるもの

社会福祉士



社会学コース授業風景



学科概要

1. 学科の教育理念・目的

【学科共通】

本学科では、琉球・沖縄、日本、朝鮮半島、中国・台湾を、歴史、民俗、言語、文学を通じて多角的に、総合的に学びます。これらの地域は歴史的にも、現在も相互に影響を及ぼしあっています。地域研究を中心としつつ、他地域とのつながりも研究しています。

教育・研究を通して、資料(史料)・情報を収集する能力を身につけ、根拠ある主張を論理的に展開できる人材を育成したいと思っています。沖縄・琉球をはじめとする地域社会や文化を理解し、その継承発展に貢献したいと考えています。

【歴史・民俗プログラム】

琉球・沖縄や日本、中国・台湾、朝鮮半島を中心とした地域の歴史・民俗学に関する研究をします。専門知識を深めていくなかで、地域社会と国際的な場で琉球・沖縄及び日本・アジアを積極的に発信する人材を育成することを目指しています。

【言語学プログラム】

琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の言語学に関する研究をします。文化の基盤となる言葉の理解を通して、異なる文化背景を持つ人々とコミュニケーションする能力を身につけます。

【文学プログラム】

琉球・沖縄や日本・中国・台湾・朝鮮半島を中心とした地域の文学に関する研究をします。文化や文学を深く読み解くことを通して、異なる文化背景を持つ人々と平和的に共生していく能力の育成を目指しています。

2. 求める学生像

本学科では、次のような人に入学者、学んで欲しいと思っています。

- (1) 琉球・沖縄、日本、中国・台湾、朝鮮半島の言語、文学、文化、歴史、民俗などに強い関心と学習意欲を持っている人
- (2) こうした地域の違いと類似性に目を向けつつ、主体的・積極的に研究できる人
- (3) 社会・文化の発信や継承・発展に寄与することができる人

3. 育成する人材像

本学科は、琉球・沖縄、日本、中国・台湾、朝鮮半島の歴史・民俗、言語、文学に関わる学問を教授します。そして教育・研究を通して以下の人材を育成することを目標としています。

- (1) 資料(史料)・情報を収集する能力を身につけた人材
- (2) 資料(史料)・や情報の整理・分析を通して、根拠にもとづいた主張を展開できる人材
- (3) 成果をまとめ、論理的で説得力のある説明ができる人材
- (4) 他者との意見交換を通して、多様な見解や価値観を受け入れ、柔軟に修正・改善する姿勢を持つ人材

留学について

琉球大学と協定を提携している世界中の各大学へと交換留学することが可能です。この制度を利用して、これまで、ソウル市立大学(韓国)、延辺大学(中国)、国立台湾大学などに留学しています。また、台湾の協定校で研修を行う「海外文化研修(中国語圏)」の講義をとることもできます。

想定する進路

公務員、大学院進学、マスコミ、出版社、金融業・保険業、生活関連サービス業、郵便業、宿泊業、製造業、情報通信業、教育・学習支援業

取得可能な資格・免許

免許: 中学校教諭一種免許(国語)、高等学校教諭一種免許(国語)
資格: 博物館学芸員

歴史・民俗学プログラム



Soyo Takahashi

高橋そよ先生のメッセージ

皆さんは、沖縄を中心に置いた世界地図を見たことがあるでしょうか。琉球弧に生きる人々は古くから様々な島や人と交流しながら社会を形成してきました。琉球王国時代には日本や中国、東南アジアの影響を受けながら独自の文化を発展させ、現在もそれは沖縄の文化に深く息づいています。さらに島々では、その社会や環境の特性に応じて、生業(なりわい)の技術や民俗語彙(みんぞくごい)、在来知、信仰、社会組織、経済慣行などの地域固有の文化を育んできました。島ごとに異なる文化の多様性との出会いは、琉球弧で民俗学を学ぶおもしろさの一つです。琉球民俗学ゼミでは、今を生きる沖縄・琉球の民俗文化を歩き、見て、聞く「フィールドワーク」を重視し、歴史軸の上に、その現代的な意味を思索することを大切にしています。

教員一覧

麻生 伸一	教授	琉球史
大濱 郁子	准教授	沖縄近現代史
中村 春菜	准教授	中琉関係史
高橋 そよ	准教授	琉球民俗学



琉球民俗学のゼミ発表のようす



与論島でのフィールドワーク

言語学プログラム



Nana
Tohyama



教員一覧

新任教員	日本語学(予定)
當山 奈那	准教授 琉球語学
金城ひろみ	准教授 中国語学・中国語教育学

當山奈那先生のメッセージ

「琉球語」と聞いて、例えば、どのようなものがうかびますか？最初の講義でたずねた時、学生からは、「アワテレー」「食べキレン」「クワッチーサビラ」「〇〇サー」「アイジャ」「マサイ」などが出てきました。私達は、このような琉球列島で話されているコトバについて、いわゆる伝統的なコトバや若い人達が使っている新しいコトバも含めて、幅広く研究をしています。ある有名な言語学者は、人間の言語を至高の芸術作品と例えましたが、琉球語のある辞典を作った方は、「人は無意識のうちに美しく素晴らしいコトバの布を織っている」とおっしゃっていました。複雑で細かく、システムティックな人間言語の謎に、地域のコトバから迫ってみませんか？



奄美でのフィールド調査の様子(2018年)



1年生の講義で大学内史跡をまわりました

文学プログラム



Sejong
Oh



教員一覧

大胡 太郎	教授	日本古典文学
新城 郁夫	教授	日本文学・沖縄文学
吳 世宗	教授	朝鮮文学・在日朝鮮人文学
前城 淳子	准教授	琉球文学
平良 妙子	准教授	中国古典文学・琉球漢詩文

吳世宗先生のメッセージ

「朝鮮文学」からどのような文学作品を想像するでしょうか？『82年生まれ、キム・ジヨン』『フィフティ・ピープル』など、最近多く翻訳され始めた韓国の現代文学も「朝鮮文学」に含まれます。『春香伝』や『洪吉童伝』といった古典も、金東仁「いも」や李光洙『無情』といった戦時中の作品ももちろん入ります。それだけでなく、朝鮮民族は世界に広がって生活していますので、英語で書かれたミンジン・リー『パチンコ』や日本語で書かれた金時鐘『猪飼野詩集』なども「朝鮮文学」です。「朝鮮文学」は歴史や地域、そして言語を超えた幅広いジャンルとなっていて、世界史的な観点、ジェンダー的な観点あるいは日本文学との比較から考察することができます。ぜひ一緒にいろんな作品に触れてみませんか。



研修で勝連城址にいきました(2018年)



卒業論文発表会の様子(2019年)



韓国・釜山の「国際市場」
「国際市場で会いましょう」の舞台

2023年度 年間スケジュール

学年暦



- 4月1日 _____
- 学年・前学期開始(15週)
- 4月5日～7日 _____
- 全学部の新入生オリエンテーション
サークル紹介
- ※人文社会学部の新入生オリエンテーション
個人の時間割作成
仮登録期間
- 4月6日 _____
- 入学式
- 4月12日 _____
- 前学期授業開始
- 5月27日 _____
- 体育祭
- 7月16日 _____
- オープンキャンパス
- 8月2日～8月8日 _____
- 前学期試験期間
- 8月16日～9月30日 _____
- 夏季休業
- 9月23日・24日 _____
- 琉大祭
- 9月25日～9月27日 _____
- 後学期仮登録
- 10月1日 _____
- 後学期開始(15週)
- 10月2日 _____
- 後学期授業開始
- 12月6日 _____
- 学校推薦型選抜等
- 12月26日～1月3日 _____
- 冬季休業
- 1月13日～14日 _____
- 大学入学共通テスト
- 2月1日～2月7日 _____
- 後学期試験期間
- 2月15日～3月31日 _____
- 春季休業
- 2月25日・26日 _____
- 一般選抜(前期)
- 3月12日 _____
- 一般選抜(後期)
- 3月19日 _____
- 卒業式

※教員から学生生活全般に対する助言や、科目履修等に関する説明があり、在校生からも様々なアドバイスがもらえます。

大学への学生の交通手段

人文社会学部では、約6割の学生が車で通学しています。
2km以上の通学距離がある場合、駐車場利用のための入構許可証が発行できます。



授業料 (2024年度)

合計	¥817,800	入学料	¥282,000
		授業料 (年額)	¥535,800

学生をサポートする各種制度があります

各種制度		
授業料・ 入学料免除等	給付奨学金(日本学生支援機構)+ 授業料免除(大学)が受けられる修学 支援新制度のほか、大学独自の緊急 支援制度などもあります。	授業料・ 入学料免除等 (琉大HP)
奨学金	日本学生支援機構が実施する 奨学金制度があります。	日本学生 支援機構 HP
学生寮	琉大キャンパスの宜野湾口(北口) 近くに学生寮(千原寮)があります。 2022年に改修工事が完了しました。	学生寮に ついて (琉大HP)

☆新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、琉球大学でも遠隔授業が実施されるようになりました。それとともに琉球大学では数理データサイエンス教育(数理的思考力とデータ分析・活用能力を養う教育)の強化を方針に掲げています。今後はより一層パソコンやインターネットを活用した授業・学習の機会が増えていくことでしょう。
以下では、これに関連したトピックを紹介いたします。

ネット環境について

授業期間中、本学部(文系講義棟)では授業で使用されていない時間帯については遠隔授業等で利用できるよう教室を開放しています。
各教室では、学生なら無料でWi-Fiの使用が可能です。

遠隔授業について

遠隔授業の実施方法としては主にMicrosoft TeamsやZoom、WebClass(e-Learning)を用いたものがあります。
授業ごとに実施方法が異なりますので授業を履修する際に確認しましょう。

※Microsoft TeamsのほかMicrosoft Officeのソフト(Word、Excel、PowerPoint等)及びWebClassは在学中、無償で利用できます。

ノートPC 必携化

2022年度入学生からノートパソコン等が必携となりました。ノートパソコン購入を検討される方は、こちらから大学が推奨するPCのスペックを確認できますので、参考にしてください。

ノートパソコン
推奨スペック



※条件を満たすノートパソコン等を既にお持ちの方は、新たに購入する必要はありません。
※推奨するスペックを満たすパソコンは琉球大学生生活協同組合でも販売・サポートしています。



学生インタビュー

※あくまでも一例であり、学年や生活スタイルによって異なります。

interview

国際法政学科

Aさん/女性
4年次
出身…県内本島
住居…大学近くのアパート

仕送り: なし
奨学金あり: (日本学生支援機構)
月5万円
アルバイト: 月4万円程度
住居費: 3万円程度
食費: 月5千円
ガソリン代: 月3千円
その他: なし

講義

私はコロナウイルス流行後に入学したので、2年生の後期までZoomやTeamsを使ったオンライン授業がほとんどでしたが、流行が落ち着くにつれて対面授業が増え、2年生の後期からはほとんどの授業を対面で受けられるようになりました。感染状況にもよりますが、今後も対面授業に切り替える講義は増えていくと思います。

対面形式の授業では、多くの場合、教科書や資料を使って、教科書等の内容を説明するものが中心ですが、私の所属する法学プログラムでは、沖縄の米軍基地問題について国際人権法の観点から考えるなどのような点が問題なのかを紹介し、さらにパワーポイントのスライドを見ながら講師がスライドの補足説明を行うといったスタイルの授業もあります。また、毎講義、受講生同士で授業内容についてディスカッションを行う時間があります。評価方法は主にレポートでした。

サークル活動

所属していません。その代わりに、大学外の合唱団所属し、夏に開催される合唱の全国大会に向けて練習に励んでいます。

アルバイト

小学生・中学生対象の学習塾で、英語担当の塾講師をしています。小学生は個別、中学生は集団で学校のテスト対策授業をし、中学3年生は高校受験対策の授業も行っています。テスト期間などはシフトの融通が利くので、勉強との両立がしやすいです。

interview

人間社会学科

Bさん/女性
4年次(22年度卒業)
出身県内(離島)
住居…アパート(姉と同居)

奨学金あり: 月4.4万円
仕送り: なし
アルバイト: 月1.8万円~
住居費: 3万円
食費: 1.5万円
ガソリン代: 7千円
その他: 1万円~

講義

2年次からコロナ禍でオンライン授業となり、慣れるまでは大変でした。オンライン授業であっても、講義形式のもの、少人数に分けての討論やグループで発表する授業など様々でした。オンライン授業のため、課題の提出日や方法を友人間で何気なく確認し合うことが難しく、各授業の課題を自分で管理することが大変でした。

4年次は、単位をほぼ取り終え、授業も少なかったため、卒論に集中して取り組むことができました。年次が上がった時の負担を減らすため、1年次から計画的に履修することをお勧めします。

サークル活動

学内のサークルには所属していませんが、地域の一般のクラブに所属しています。運動系のクラブであり、基本的に土日や平日の夜に練習し、県内の大会に参加しています。

アルバイト

子どもの居場所をサポートする学生ボランティアとして、週3回ほど活動しています。ボランティアという名前ですが、謝礼金として時給がでます。子どもと遊ぶことが好きだったことと、自分が何か役に立てることがあるならと活動を始めました。日々の活動で楽しいことも大変なことも多々あり、多くの学びを得られる有意義な時間となっています。

interview

琉球アジア文化学科

Cさん/男性
3年次
出身…県外
住居…アパート

奨学金: なし
仕送り: 月5万円
アルバイト: 月2万円
住居費: 3.5万円
食費: 3万円
ガソリン代: なし
その他: なし

講義

2年次になってからはほとんどが対面のものになりました。家が大学からすぐとはいえず、教室に行かなくてはいけないのは大変に思うときもありますが、教室に行くことで気持ちが切り替わり、集中できるのでよいと感じています。先生方から教えていただくのはもちろんですが、自分で調べ、持った意見を他の人たちと議論することで、さらに多くの気づきが得られます。学部学科の専門的な講義だけでなく、共通科目で興味がある分野のものをいろいろ学べるのも楽しいです。他にもフィールドワークに行ったり、図書館で貴重な資料を見たりと、教室の外に出るの学びも大きな刺激になっています。

サークル活動

茶道研究サークルに所属しています。中学から始め、大学でも続けたいと考えて入部しました。先生や先輩方の熱心な指導で上達できたと感じますし、自分が教えることでより深い理解にも繋がっています。また、サークルとは少し異なりますが、大学外の自然教室でボランティアスタッフをしています。最初は知らないところだらけでしたが、子供たちと遊び、学ぶという経験は大変ですがとても楽しいものです。サークルといった課外活動は他の学部学科の人たちと交流し、自身の知識・経験を大きく広げるまたとない機会だと思います。

アルバイト

大学の先生から紹介していただき、資料館で補助スタッフの仕事をしています。自分の学んだこと経験を生かすことができ、さらに新しい知識も得られるため、経験としてもとてもよいものが得られたと感じます。それ以外にも、空いた日に単発のバイトをすることもあります。バイト先は遠いと通うのが大変なので、できるだけ自分の家の近くで探すのがいいと思います。また、大学での学習が第一、というのは常に意識して支障が出ないようにしています。





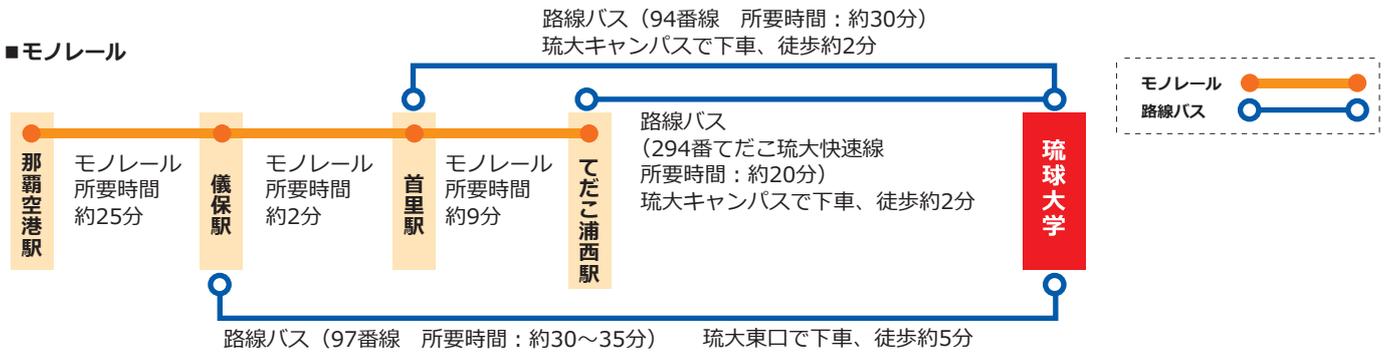
琉球大学 人文社会学部 2024

国際法政学科・人間社会学科・琉球アジア文化学科

交通案内

空港 → 琉球大学 (人文社会学部)

- 高速バス 111 番線、117 番線 (琉球バス・沖縄バス・那覇バス・東陽バス)
113 番線、123 番線、152 番線 (琉球バス)
国内線旅客ターミナル前⇒琉大入口 (約40~50分) 下車、徒歩15分



てだこ浦西駅⇒琉球大学までタクシーの場合、所要時間約10~15分

バスターミナル → 琉球大学 (人文社会学部)

- 路線バス (各20分~40分に1本程度/所要時間: 97番→約60分 98番→約50分)

97番線 (琉大東・北口方面) **経路** バスターミナル⇒国際通り (牧志) ⇒儀保 (首里) ⇒ 琉大附属病院⇒琉大東口 (下車、徒歩約5分)

98番線 (琉大北口方面) **経路** バスターミナル⇒国際通り (牧志) ⇒国道330号⇒ 真栄原⇒沖国大前⇒琉大北口 (下車、徒歩約12分)

※ 交通渋滞のため、バスが定刻どおり運行していない場合があります。
時間に余裕を持ってご来学くださいますよう、お願いします。



「人文社会学部」に関する問合せ先 人文社会学部 学務係

〒903-0213 沖縄県中頭郡西原町字千原1番地
TEL(098) 895-8188 FAX(098) 895-8187

人文社会学部事務室は、文系総合研究棟1階にあります。

「人文社会学部」に関連する最新情報は、琉球大学人文社会学部のホームページ (<https://www.hs.u-ryukyu.ac.jp/>) でご確認ください。



琉球大学
UNIVERSITY OF THE RYUKYUS